

## デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の検証について

### 1 地方創生推進タイプについて

#### (1) 対象事業

地方版総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業

#### (2) 活用状況

令和4年度においては21事業について計6億6,431万円活用。

#### (3) 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

##### 《全体の状況》

	指標値を達成	概ね順調に推移	更なる取組が必要	策定時を下回る	合計(※)
項目数	26項目 (44.8%)	5項目 (8.6%)	17項目 (29.3%)	10項目 (17.3%)	58項目 (100.0%)

※KPIは75項目存在しているが、統計値未発表の17項目については除いて集計

##### 《各事業の評価》

新型コロナの影響等により、KPIは更なる取組が必要な項目や策定時を下回っている項目もあるものの、各対象事業の実施により「第4次山形県総合発展計画 実施計画」の推進が図られた。なお、継続事業については、KPIの進捗状況を踏まえて適宜事業内容を見直ししながら、指標の達成に向けて引き続き取り組んでいく。

### 2 地方創生拠点整備タイプについて

#### (1) 対象事業

地方版総合戦略に基づく、地方創生の推進に資する施設の整備等を行う事業

#### (2) 活用状況

平成30年度以降7事業に活用\*し、うち令和4年度においては1事業について2,205万円活用。 ※ 地域再生計画期間内（原則5年間）の効果検証が必要

#### (3) 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

##### 《全体の状況》

	指標値を達成	概ね順調に推移	更なる取組が必要	策定時を下回る	合計(※)
項目数	6項目 (46.1%)	1項目 (7.7%)	4項目 (30.8%)	2項目 (15.4%)	13項目 (100.0%)

※KPIは20項目存在しているが、統計値未発表又は施策効果の発現・把握が今後となる7項目については除いて集計

##### 《各事業の評価》

新型コロナの影響等により、KPIは更なる取組が必要な項目や策定時を下回っている項目もあるものの、各対象事業の実施により「第4次山形県総合発展計画 実施計画」の推進が図られた。KPIの進捗状況を踏まえて適宜事業内容を見直ししながら、整備した施設を活用し、指標の達成に向けて引き続き取り組んでいく。

#### 【参考】

デジタル田園都市国家構想交付金制度要綱第12の規定により、当該事業に関する毎年度の達成状況等について検証・評価するに当たり、学識経験者等の第三者の意見を求めるよう努めることとされていることから、本県では山形県総合政策審議会において検証・評価することとしている。

## デジタル田園都市国家構想交付金活用事業のKPI一覧

## 1 地方創生推進タイプ活用事業

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標(KPI)	事業開始からR4事業終了時までの増加分(累計)		進捗状況
				目標値	実績値	
1	新「世界の蔵王」プロジェクト (R1～R4年度)	蔵王をはじめとする山岳資源を活かした観光誘客の促進、インバウンド等の交流拡大に向けた受入体制の整備、山形の魅力を活かした先導的ツアーの推進等	本事業によって開発した旅行商品の売上金額(千円)	25,200	7,565	更なる取組みが必要
			本事業によって開発した着地型旅行商品への参加者数(人)	1,620	1,315	概ね順調
			蔵王における外国人宿泊者数(千人)	2.25	△ 5.80	策定時を下回る
			蔵王における山岳観光客入込数(千人)	1.65	統計値未発表	—
2	移住定住・人材確保戦略的展開事業 (R1～R5年度)	移住定住・人材確保を一体化・組織化したうえで、本県への移住希望者のニーズに寄り添った質の高い移住定住・人材確保を戦略的に展開	本事業実施後における新規移住者数(県や市町村等の各種公的相談窓口を利用した者)(人)	3,000	2,888	概ね順調
			移住相談窓口(県及び市町村)への年間相談件数(件)	2,150	13,224	達成
			移住定住ポータルサイトトップページのアクセス件数(件)	40,000	864,238	達成
3	「日本一美酒県 山形」推進プロジェクト (R2～R4年度)	日本酒・ワインを中心に、食品関係産業や伝統工芸・地場産業、観光産業など本県の魅力ある地域資源を活用・組み合わせた新たな価値を持った商品・サービスの創出や取引拡大	県産日本酒のうち純米酒及び吟醸酒(大吟醸酒、純米吟醸酒、純米大吟醸酒を含む)の出荷量(課税数量)の増(前年比1%増)(kl)	180.44	△ 1,155.50	策定時を下回る
			県産ワインの出荷量(課税数量)の増(前年比2%増)(kl)	79.65	△ 190.25	策定時を下回る
			県産日本酒の輸出量の増(前年比15%増)(kl)	260.29	226.70	概ね順調
4	観光デジタルマーケティングの推進による訪日外国人観光消費額の拡大事業 (R2～R4年度)	データに基づいた観光施策やその効果検証を行うことでPDCAサイクルの実行と確立を図り、国内外の観光客一人ひとりに対し、きめ細かな情報発信や着地型観光商品を提供	訪日外国人観光消費額(百万円)	7,665	統計値未発表	—
			データ分析結果を活用して開発・改良した観光商品の売上金額(千円)	17,750	0	更なる取組みが必要
			県観光情報ポータルサイトを經由した宿泊予約成約件数(件)	900	223	更なる取組みが必要
			延べ外国人宿泊者数(人泊)	129,540	△ 135,720	策定時を下回る
5	プロフェッショナル人材を活用した中小企業成長戦略実現事業 (R2～R4年度)	プロフェッショナル人材戦略拠点の設置・運営により、企業へのプロフェッショナル人材のマッチングのほか、副業・兼業人材のマッチングを推進	地域企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング件数(件)	156	303	達成
			地域企業の経営課題に関する相談件数(件)	630	699	達成
			後継者不足・事業承継に対応した他の機関との連携件数(件)	6	6	達成
6	誰もが居場所と役割を持って生涯活躍できる地域コミュニティづくり推進事業 (R3～R5年度)	「交流・居場所」、「健康」、「活躍・しごと」、「人の流れづくり」の各要素の事業を通して、誰もが居場所と役割を持って活躍できる地域コミュニティづくりを推進	地域運営組織数(箇所)	31	37	達成
			若者就職支援センターにおける就職者数(人)	20	5	更なる取組みが必要
			市町村・企業等による健康づくり事業への参加者数(人)	20,000	△ 18,083	策定時を下回る
			地域活動に取り組む青年グループ数(団体)	13	13	達成

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始から R4 事業終了時までの増加分 (累計)		進捗状況
				目標値	実績値	
7	「新しい山形の過ごし方」(県内資源の魅力を活かした滞在型観光)の提案によるインバウンド誘客促進事業 (R3~R5 年度)	海外市場ごとの特性に応じた観光商品の造成や、山形の特徴・優位性を活かした「新しい山形の過ごし方」の提案等による観光消費額の拡大とインバウンド誘客の促進	外国人旅行者延べ宿泊者数(人)	261,645	△ 206,310	策定時を下回る
			外国人旅行者受入数(人)	421,035	△ 331,477	策定時を下回る
			訪日外国人観光消費額単価(円)	1,077	統計値未発表	—
			外航クルーズ船寄港数(回)	5	0	更なる取組みが必要
8	デジタル技術を活用した幸せな地域づくり推進事業 (R3~R5 年度)	福祉、産業、教育等を中心としたあらゆる分野におけるデジタル技術の活用や高度な技術開発、デジタル人材の活用等による県内の DX の促進	本事業を通じた、デジタル技術を活用した生産性向上や暮らしの質の向上に関する取組件数(件)	20	31	達成
			デジタル技術研修の受講者数(人)	96	136	達成
			本事業を通じた、デジタル技術を導入する訪問看護事業所の数(件)	11	47	達成
			ICT 推進トップリーダーによる研修を受講した教員数(人)	75	388	達成
9	多様な「チカラ」の結集による総合的産業活性化事業 (R3~R5 年度)	県内企業の情報発信強化等による産業人材の創出・確保、創業・事業承継支援による地域産業の新陳代謝の促進、新たな販路開拓支援等による県産品のブランドイメージ向上・定着の促進	本事業を通して増加した県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合(%)	0.63	△ 4.01	策定時を下回る
			本事業を通じた県の支援による創業件数(件)	18	80	達成
			本事業を通して増加した県産品ポータルサイト「いいもの山形」掲載生産者数(者)	8	9	達成
10	バイオ関連産業エコシステム形成促進事業 (R3~R5 年度)	慶應先端研及びバイオベンチャーと県内企業との共同研究・共同開発及び事業化を推進するとともに、事業化した場合の販路開拓等を支援	本事業により慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発した製品・サービスのうち、事業化・製品化した件数(件)	1	5	達成
			本事業により共同研究を行った慶應先端研・バイオベンチャー及び県内企業における新規雇用者数(人)	25	29	達成
			慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発件数のうち、庄内地域以外の割合(%)	14	30	達成
			慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発件数のうち、食品産業以外の産業の割合(%)	8	32	達成
11	がん地域医療次世代モデル構築推進事業 (R3~R5 年度)	国立がん研究センターや慶應先端研と連携したメタボローム解析技術を用いた研究の事業化の推進、連携研究拠点の認知度向上による高度人材の集積、交流人口拡大の推進	支援事業を通じた新たなサービス、製品の事業化数(商品)	1	1	達成
			支援事業を通じた新サービス、新製品の事業化に伴う新規雇用者数(人)	2	2	達成
			次世代医療メタボローム解析データのデータベース登録数(件)	300	340	達成
			県内医療機関等とのがん治療等に関する連携(共同研究含む)数(件)	2	2	達成
12	他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面漁業地域の創生事業 (R3~R5 年度)	水産業者の経営基盤強化に向けた取組みを支援するとともに、水産物の付加価値向上に向けて漁業者等の加工・鮮度保持技術の導入を支援	支援事業を通じたトップランナー及び準トップランナーにおける海面漁業生産額の増加(千円)	110,500	統計値未発表	—
			支援事業を通じた蓄養による出荷額の増加(千円)	4,600	2,586	更なる取組みが必要
			養殖生産額(種苗等販売額を含む)(千円)	34,000	統計値未発表	—
			遊漁証の発行枚数の増加(枚)	1,950	△ 510	策定時を下回る

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始から R4 事業終了時までの増加分 (累計)		進捗状況
				目標値	実績値	
13	やまがたの未来を担う元気な農林業人材(ひと)づくりプロジェクト (R3~R5 年度)	地域農林水産業を支える多様な人材の確保・育成に取り組むとともに、経営マインドや高度な経営・技術知識の習得やICT等の新技術の導入を促進	山形県で農業を始めた若者及び女性の人数 (女性と30代以下の男性の実人数) (人)	77	43	更なる取組みが必要
			山形県への移住者で、農業を始めた人数 (人)	23	8	更なる取組みが必要
			支援事業を通じた農業者当たりの産出額 (万円)	32	統計値未発表	—
			農業就業ポータルサイトのアクセス数 (件)	8,200	15,806	達成
14	収益性の高い農業の展開と県産農産物等の付加価値向上推進事業 (R3~R5 年度)	ECサイトの活用など販売チャネルの多角化の支援等による県産農林水産物・6次産業化商品の需要拡大・販路拡大 酒田港を利用した輸出の促進	支援事業を通じた食品製造品販売額 (万円)	3,700	統計値未発表	—
			支援事業を通じた食品製造品販売額 (百万円)	48	統計値未発表	—
			6次産業化に取り組む事業者のEC参入率 (%)	8.0	統計値未発表	—
15	新ビジネス創出加速化事業 (R4~R6 年度)	新ビジネス創出や地域課題の解決に向けたソーシャルイノベーション創出の支援等により地域経済エコシステムを構築し、産業イノベーションを起点とした地域産業の活性化を促進	本事業による支援を通して生まれた新ビジネスの数 (件)	5	3	更なる取組みが必要
			マッチング補助金の支援を受けて実現した新ビジネスの売上高 (千円)	10,000	0	更なる取組みが必要
			マッチング補助金の申請件数 (件)	20	0	更なる取組みが必要
16	次世代産業への参入促進による付加価値向上事業 (R4~R6 年度)	成長分野への新規参入支援等による企業の付加価値向上の促進や、本県が先導的に取り組んできた分野における研究シーズの活用による製品・事業の高付加価値化等により、高付加価値を生み出すものづくり産業を形成	本事業を通して新たに成立した商談の件数 (件)	10	30	達成
			本事業を通して自動車・医療・福祉等の成長期待分野に新たに参入する県内企業数 (社)	3	6	達成
			本事業を通して新たに AI を導入する企業数 (社)	2	0	更なる取組みが必要
17	山形の宝である多彩な環境・文化資産の活用による持続可能な観光地域づくり推進事業 (R4~R6 年度)	本県の特徴ある地域資源等を活かし、魅力ある地域づくりを推進し地域の活性化を促すとともに、地域の多様な資産を保全・活用・継承していく取組みや、郷土愛の醸成等の取組みを通して、地元が主体性をもった持続可能な地域づくりを推進	蔵王を取り巻く地域 (山形市、上山市、天童市) の観光消費額単価 (円)	3,993	統計値未発表	—
			県内主要温泉観光地の観光者数 (千人)	1,683	統計値未発表	—
			やまがた景観物語「おすすめビューポイント」来訪者数 (千人)	10	8	概ね順調
			地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒 (小学生) の割合 (%)	1.4	△ 14.1	策定時を下回る
18	人材・産業・地域のグローバル化推進事業 (R4~R6 年度)	外国人留学生の受入拡大・県内定着促進や、県内企業における外国人材の受入促進、若者や企業の経営者等が国内外と新たに交流する機会の創出等の取組みを通じて、人材・産業・地域のグローバル化を推進	本事業を通じて増加した外国人留学生のうち卒業生の県内就職率 (%)	3.89	統計値未発表	—
			本事業を通じて増加した外国人留学生の県内受入数 (人)	35	0	更なる取組みが必要
			本事業を通じて増加した海外取引を行う県内企業の数 (社)	18	統計値未発表	—
			サミット参加者数 (人)	120	138	達成

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始から R4 事業終了時までの増加分 (累計)		進捗状況
				目標値	実績値	
19	光と食でおもてなし！見て、食して、体感する～山形どまんなか冬季観光プロジェクト～ (R3～R5 年度)	イルミネーションを観光資源とした事業の実施、地域資源である「食」にスポットを当てた圏域外への情報発信強化による冬期間の観光誘客の促進	冬期間(1月～3月)の観光者数(千人)	186.02	統計値未発表	—
			道の駅の観光者数(千人)	77.34	統計値未発表	—
			圏域外に居住する関係人口の人数(人)	30	統計値未発表	—
			宿泊者数(人)	20,210	統計値未発表	—
20	山形県移住支援事業・マッチング支援事業・移住支援窓口機能強化事業、山形県地域課題解決型創業支援事業 (R1～R4 年度)	東京圏からの移住並びに本県産業への就業及び起業を後押しするための移住支援金の支給、本県産業と就業者とのマッチング支援 地域課題解決型の社会的事業分野における起業家に対する起業支援金の支給	本移住支援事業に基づく移住就業者数(人)	281	51	更なる取組みが必要
			本移住支援事業に基づく移住起業家数(人)	4	3	更なる取組みが必要
			本移住支援事業に基づく起業家数(人)	12	5	更なる取組みが必要
			マッチングサイトに新たに掲載された求人数(件)	1,300	1209	概ね順調
			本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数(世帯)	10	6	更なる取組みが必要
21	女性・高齢者・障がい者就業支援事業 (R1～R4 年度)	女性、高齢者、障がい者の新規就業者の掘り起こし、マッチング、伴走支援	本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)(人)	700	1,825	達成

## 2 地方創生拠点整備タイプ活用事業

No.	事業名	事業概要	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始から R4 事業終了時までの増加分(累計)		進捗状況
				目標値	実績値	
1	土地利用型作物スマート農業拠点棟整備事業 (H31.3 完成)	高品質・良食味米の安定生産を可能とするスマート農業の拠点棟を整備	水稻の1日当たり所得(円/日)	2,196	統計値未発表	—
			水稻の10a 当たり労働時間の短縮(時間/10a)	3.0	統計値未発表	—
			生育診断による山形県産米の食味ランキング「特A」の獲得品種数の増加(数)	2	2	達成
2	高温耐性・耐冷性検定拠点整備計画 (H31.3 完成)	高品質米の安定生産を可能とする高温耐性と耐冷性を兼ね備えた水稻品種を育成するための大規模・高性能な検定施設を整備	耐冷性及び高温耐性を兼ね備えた品種の育成数(数)	1	0	更なる取組みが必要
			水稻の10a 当たりの収量(kg)	12	△ 4	策定時を下回る
			水稻の一等米比率(%)	2.0	1.2	更なる取組みが必要
3	乳製品加工施設整備計画 (H31.3 完成)	乳製品加工に係る基本的な製造技術の習得から商品化や販売・ブランド化までを一貫して学ぶ実践教育を行う乳製品加工施設を整備	乳製品加工施設を活用した農林大学校の乳製品の売り払い収入額の増加(千円)	744	715	概ね順調
			乳製品加工施設を活用した学習・研修実施による乳製品加工技術者数(人)	100	133	達成
			本施設を活用した乳製品の開発・商品販売件数(件)	4	6	達成
4	「園芸大国やまがた」の実現を支える園芸研究スマート拠点整備計画 (R1.5 完成)	園芸農業にイノベーションを起こす技術開発を行うスマート農業の拠点施設を整備	長期貯蔵出荷されたぶどう「シャインマスカット」の量(t)	21.0	10.9	更なる取組みが必要
			本県にあったスマート(次世代型)ハウスの導入箇所(箇所)	4	4	達成
			園芸試験場で新たに開発した品種(さくらんぼ「山形C12号」、食用菊「菊名月」)の導入面積(ha)	50.0	148.6	達成
5	IoT 製品評価センター(仮称)整備計画 (R2.6 完成)	IoT 等の分野で今後の成長が見込まれる電子デバイスの高度化を図るための施設設備等を整備	電子部品・デバイス・電子回路製造業の付加価値額(百万円)	30,000	統計値未発表	—
			工業技術センターの支援による企業の製品化実績数(件)	15	△ 6	策定時を下回る
			高度人材の育成数(人)	90	26	更なる取組みが必要
6	やまがたの園芸技術革新を実現する研究拠点整備計画 (R2.3 完成)	本県の園芸に新たなイノベーション、生産性革命を起こす技術を開発するための研究開発棟等の整備	施設整備によって向上した技術により増加した産出額(3品目:えだまめ、さくらんぼ、ぶどう)(百万円)	2,300	統計値未発表	—
			施設整備によって向上した技術により増加した醸造用ぶどうの栽培面積(ha)	100	統計値未発表	—
			施設整備により開発したすいか超省力栽培技術の導入面積(ha)	100	103	達成
7	東北農林専門職大学(仮称)を活用した農林業のデジタル実装研究・研修拠点整備計画(第1次事業) (R5.3 完成)	園芸農業(果樹)を成長産業化させるため、ICT 技術を活用した気候変動対応型農業の技術開発に関する拠点施設を整備	施設整備によって向上した技術により増加した産出額(さくらんぼ)(百万円)	0	— (効果の発現が今後)	—
			施設整備によって向上した技術により増加した農業者一人当たりの産出額(万円)	0	— (効果の発現が今後)	—